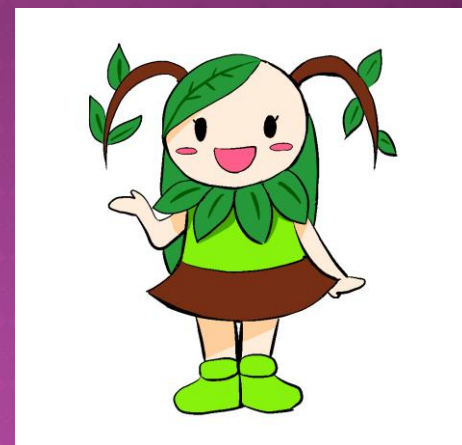


【釜南学校運営協議会】

令和3年度 学校経営方針

プログラム

- 1 学校教育目標について
- 2 今年度の重点取組分野
- 3 地域・家庭との連携
- 4 学校運営グランドデザイン
- 5 新しい挑戦！3つの取組
- 6 学びを止めない
新しい学校生活様式
- 7 ユニバーサルデザインの視点
に立った学習環境



榎の木の妖精 ニレーナちゃん

令和3年7月15日

校長 田中さくら

《学校教育目標》

「友だちを思いやり、
友だちとひびき合う心」

- 知・学び合う楽しさを知り、進んで課題解決に取り組む子
- 徳・人を思いやり、進んで行動する子
- 体・生命（いのち）を大切にし、健やかな体をつくる子
- 公・進んでまちとかかわり、地域とともに生きる子
- 開・人とふれあい、視野を広げていく子

【教育課程全体で育成を目指す資質・能力】

- 1 体験的な学習の中で他者と協力・協働しながら学習を進めるためのコミュニケーション能力
- 2 目標に向かい、主体的に学習に取り組むための情報収集・活用能力

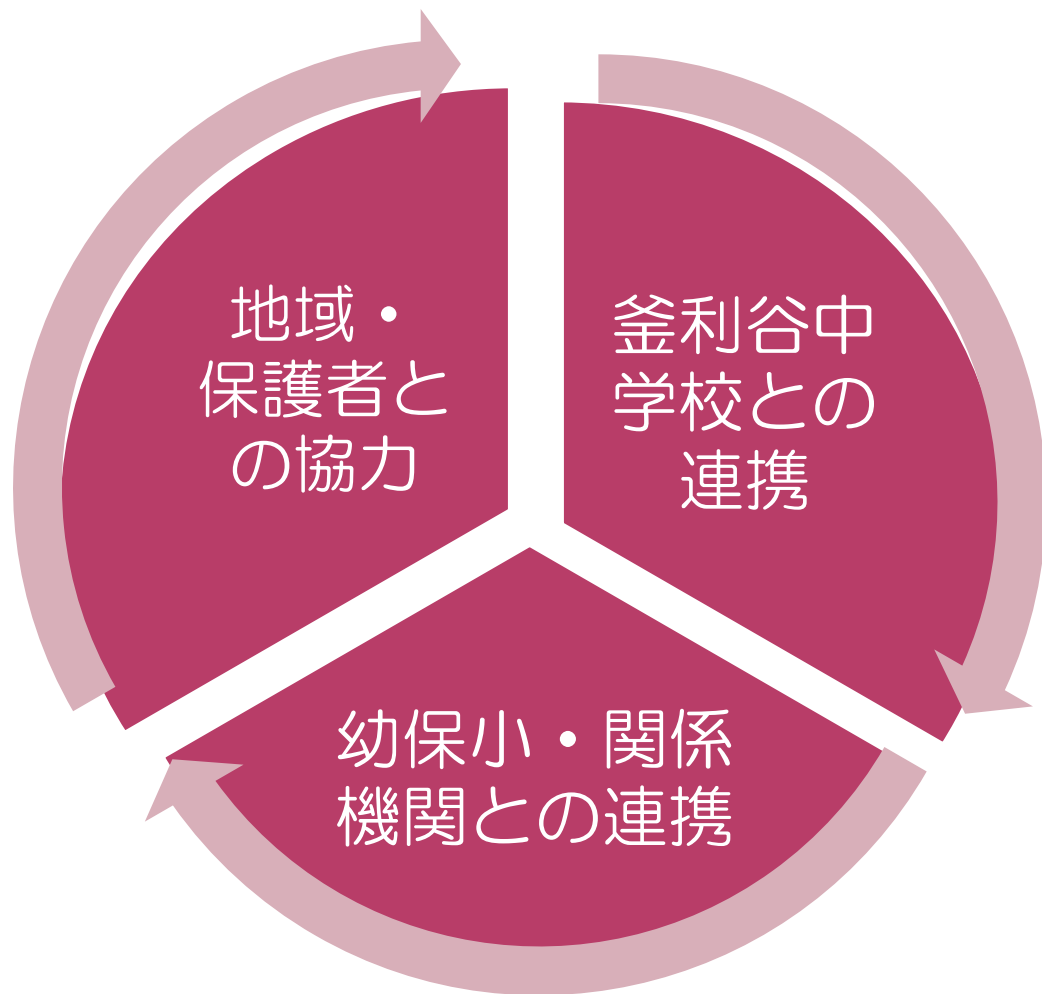


夢や希望をもち、それに向かって努力を重ね、認め合い、語り合える学校にします。

今年度重点取組分野

- ◎ 確かな学力 → 授業力の向上と授業改善★新学習指導要領全面实施
★対話的で主体的な深い学びの場の構築
(重点研究)算数科の授業(少人数)で指導力向上
 - ◎ 豊かな心 → あいさつ運動・たてわり活動・人権教育(パラ)
 - ◎ 健やかな体 → 体力の向上のための運動の日常化
(なわとび等運動週間・体育館パスポート・姿勢体操)
 - ◎ 特別支援教育 → ユニバーサルデザインの視点に立った学習環境の整備
学習サポートの充実・外部教育機関との連携
 - ◎ 地域連携 → 学校運営協議会の充実・発信HPリニューアル・地域清掃
 - ◎ 安全管理 → 校内外の安全点検・食物アレルギー対応・コロナ対応
 - ◎ 自分作り教育 → たてわり活動の充実、外部講師の出前授業、大学連携
(キャリア教育) 釜南パスポート、教育実習生、職場体験受入れ
 - ◎ いじめの対応 → YPアセスメント、いじめ防止対策委員会、ケース会議
 - ◎ 人材育成 → メンターチーム、優秀教員・優秀チーム賞受賞
チーム学年経営・教務会・児童と共にチーム学校の実践
- 【働き方改革】留守番電話設定・プール清掃業者委託・勤務時間休憩時間
ワックスがけ業者委託・PTAの働き方改革・ペーパーレス
のメール配信欠席・遅刻連絡のメール活用(連絡帳連絡不要)

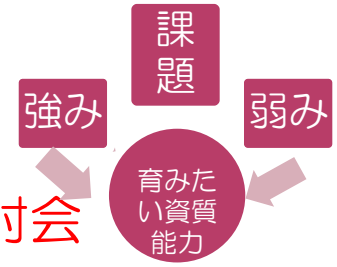
地域・家庭との連携



校内外の
ネット
ワークの
構築



学校経営グラウンドデザイン

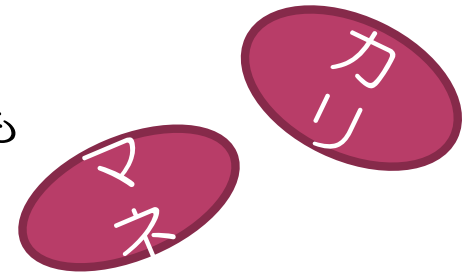


一昨年度学校運営協議会でのワークショップ型検討会

本校の強みと課題について（まじめで優しい子が多いが、積極性や粘り強さが弱い）

全職員での学校目標の見直し

集団の中でお互い認め合い高め合おうとする子ども
カリキュラムマネジメントグルグルの作成

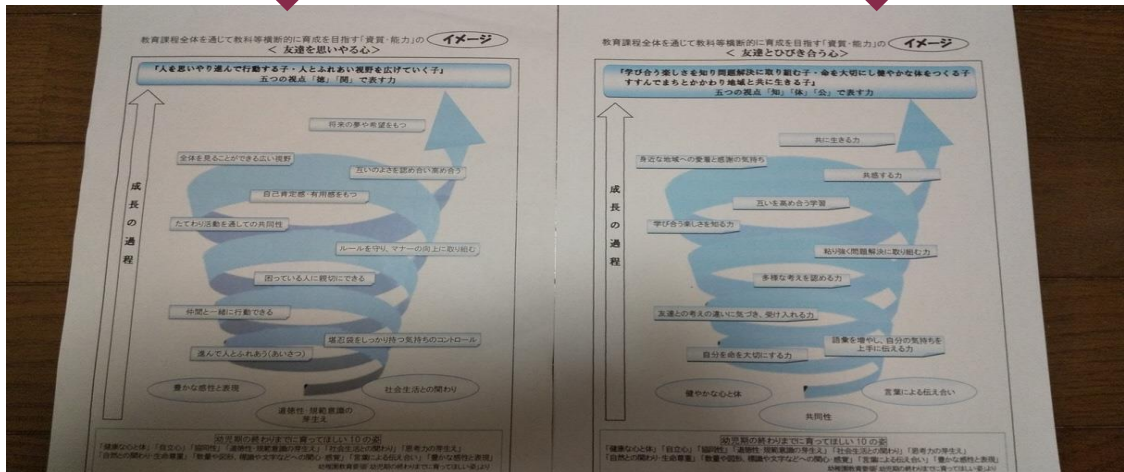


教育課程全体を通じて教科等横断的に育成を目指す「資質・能力」の
＜友達を思いやる心＞

『人を思いやり進んで行動する子・
人とふれあい視野を広げていく子』
五つの視点「徳」「開」で表す力

＜友達とひびき合う心＞

『学び合う楽しさを知り問題解決に取り組む子・命を大切にし健やかな
体をつくる子・進んでまちとかかわり地域と共に生きる子』
五つの視点「知」「体」「校」で表す力



学びを止めない新しい学校生活様式



三密を避けて ソーシャルディスタンス

- 登校時の正門内での検温・手洗い奨励のためのハンカチとマスク携帯の確認
- ソーシャルディスタンスの床マーク・フェイスシールドやアクリル板の活用

ギガスクール

- 一人1台のタブレット活用
- ロイロノートで授業作り
- 教育活動の発信
- 教科書にQRコードで読み取り学習



体験的に学ぶ機会を設け、学ぶことや働くことの意義を考えられる場を設定する

- パラリンピアン^{とうきよ}の講演・パラ競技体験学習（車椅子バスケ・ブラインドサッカー）
- ベイスターズ選手による野球教室・マリノスの選手によるサッカー教室
- 6年生から5年生への委員会活動紹介の会・1年生を迎える会

はじゅつだいひょう
東京パラリンピック パラ馬術代表
いなばしょうせんしゅ かまなん おうえん
稲葉将選手を益南で応援しよう！



?ユニバーサルデザインてなに?バリアフリーとの違いは?

ユニバーサルデザイン「ユニバーサル=普遍的な、全体の」という言葉が示しているように、できるだけ多くの人利用可能であるように、デザインすること

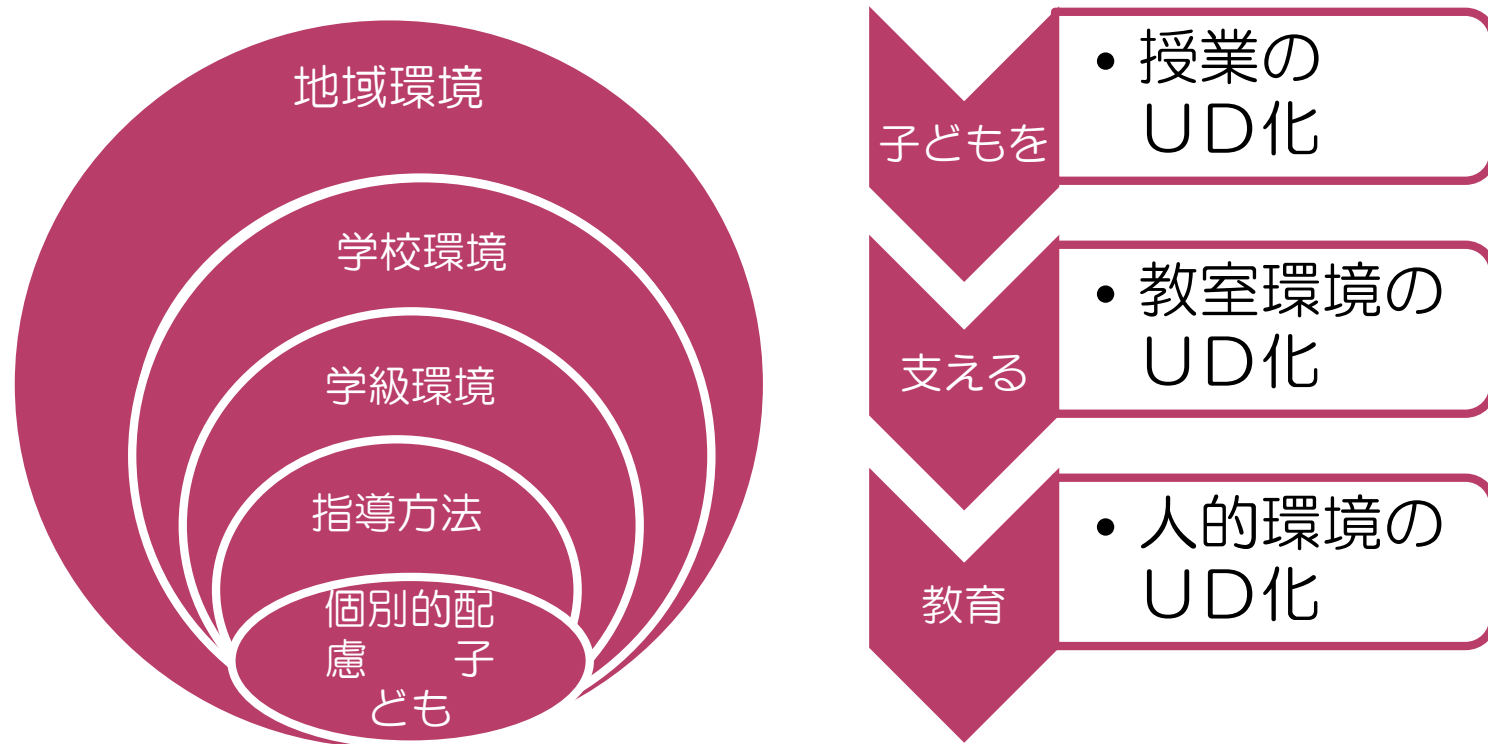
ユニバーサルデザインで大切なことさりげなく(日常化)、障害のあるなしにかかわらず便利、スムーズに、安全・安心に、学び手の立場で

教育のユニバーサルデザインで育みたい3つの「感」とは?
「安心感」「共感」「集団肯定感」



ユニバーサルデザインの視点に立った環境整備
包み込むモデルで

でも、子どもにとって最大の教育環境は目の前の大人



新しい挑戦！3つの取組

1 持続可能な学校教育活動のあり方モデル校

40分授業と50分授業の組み合わせで、学習内容により適切な子どもの主体的で対話的な深い学びを構築する授業をデザインしていく。量より質の高い内容の濃い授業「わかる授業・楽しい授業」を目指す。

★児童は、下校時刻が早まることで、安全な放課後の活動の充実

★教員は、教材研究の時間が充実し、授業力向上と授業改善につながる。

定時退勤に近づき、働き方改革にもつながる。

2 チーム学年経営強化推進校

低・中・高学年ブロックにチームマネジャーを置き、児童指導や学習指導をチーム(複数の教員)で行う。教科担任制の導入により、より専門性の高い授業を目指し、少人数指導を取り入れ、個に寄り添う授業を目指す。

3 オリンピック・パラリンピック教育推進校

オリンピック競技の観戦やオリ・パラ競技について理解することで、自分の夢や目標をもって努力する生き方を知る。パラリンピアンへの講演を聴いたり、パラスポーツを体験することで、障害者理解と心のバリアフリーについて考えを深める。